

平成29年度地方公共団体における 食品ロス削減の取組事例

＜都道府県＞	2～11頁
＜指定都市＞	12～21頁
＜市区町村＞	22～31頁

①身の回りでできることから「ちば食べきりエコスタイル」(千葉県)

ごみを減らすために、身の回りでできることを実践するライフスタイルとして「ちばエコスタイル」の下、食品ロス削減に向けて「誰でも、すぐに、簡単に」取り組める内容を推奨。

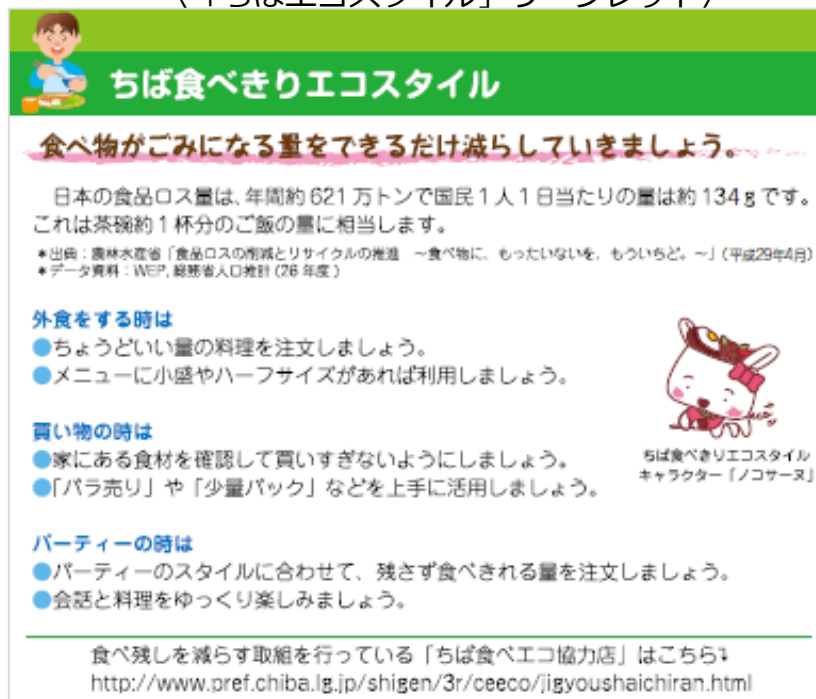
□ 誰でも、すぐに、簡単に取り組めることから始められるよう「ちばエコスタイル」で、「ちば食べきりエコスタイル」の啓発を実施。

□ 食べ残しを減らす取組を行う「ちば食べエコ協力店」を募集、登録。

〈協力店 登録証〉



〈「ちばエコスタイル」リーフレット〉



□ 毎年開催している千葉最大級の環境活動見本市「エコメッセ2017 in ちば」で、特別企画として「持続可能な食生活～始めよう食エコ」を開催。

※フードドライブやエコスタイルクッキングを実施。食エコレシピも募集。

②大消費地・東京として貴重な食料資源を無駄なく活用（東京都）

もったいない現状を都民や事業者の方に知ってもらい、食品ロスの削減に向けた取組を促進するために、様々な事業を実施。

- 食品製造から卸売業、小売業までの各事業者団体、消費者団体、有識者が一堂に会し、協働で取り組んでいく場として、食品ロスの削減策について検討する「**食品ロス削減パートナーシップ会議**」を設置・開催。

〈食品ロス削減パートナーシップ会議（第1回）開催〉



- 多くの都民に食品ロスの現状やその削減の重要性、実際の取組を知ってもらい、具体的な行動を呼び掛けることを目的として、「**食品ロスもったいないフェスタ**」を開催。

〈食品ロスもったいないフェスタ〉



- 福祉現場に食品を寄贈するリデュースモデルの構築を目指す事業を実施。**

※食品ロス削減にも資する取組として、民間団体と連携し、賞味期限の残った防災備蓄食品を社会福祉法人やフードバンク等に寄贈する事業。

〈寄贈した防災備蓄用クラッカー〉



- 食品ロス削減を目指したサービスアプリ「EcoBuy」の実証実験を実施。**

※EcoBuyとは、スマートフォンアプリを活用し、賞味期限/消費期限が間近となった商品を購入した消費者へポイントを付与することによって、食品ロスを減らす仕組みのこと。実証実験は、平成30年1月19日（金）から平成30年2月28日（水）までの期間で実施。

③事業者と消費者で賢く減らそう「とやま食ロスゼロ作戦」(富山県)

日本で発生する食品ロスのうち、約半分は事業者から、約半分は家庭から排出されていることから、事業者と消費者が力を合わせて取り組む「とやま食ロスゼロ作戦」を開始。

□ 県民運動の一環として**食品ロス・食品廃棄物削減シンポジウム in とやま**を開催。

※公募の結果、愛称「とやま食ロスゼロ作戦」、標語「使いきり 食べきり すっきり エコライフ」に決定。

〈とやま食ロスゼロ作戦専用ウェブサイト〉

□ とやま食ロスゼロ作戦の**専用ウェブサイト**を開設。

□ 専用ウェブサイトで、食品ロス等削減に取り組む**協力宣言 事業者の活動**を紹介(登録数154件)。

〈店頭啓発用のポップ〉

□ イベントや食育講座、消費者講座等で、**冷蔵庫の食材の管理チェックシート**を用いた食品ロス削減を推奨。

立山の標高3015mにちなみ、「毎月30日と15日」に冷蔵庫チェックで食品ロスを削減

とやま食ロスゼロ作戦 冷蔵庫の食材チェックシート				
今月の日	月	日	月	日
	()	()	()	()
食品名	消費期限/賞味期限			



※「あなたのすっきり度はどれくらい？」ウェブサイト上で、知識編、買い物編、保存編、料理編、外食編の15の設問に答えることで、現状を振り返ることができる。

〈サルベージ・パーティの様子〉



□ 家庭で食品ロスになりそうな食材(食べきれない食材、賞味期限が近い食材など)を利用し、おいしい料理に変身させる「**サルベージ・パーティ**」を開催。

富山県婦人会等と開催

④おいしい食材を適量で楽しむ「おいしい食べきり運動」を推進(福井県)

飲食店、料理店、ホテルや食品販売店、県連合婦人会と等連携し、全県的な取組として「おいしいふくい食べきり運動」を推進。

- 外食時に食べ残しを減らす取組に協力してくれる「おいしいふくい食べきり運動協力店」、家庭での食品ロス削減に協力してくれる「おいしいふくい食べきり家庭応援店」を募集、ウェブサイトへ掲載。

〈食べきり運動協力店
ステッカー〉



〈食べきり家庭応援店
ステッカー〉



※県のウェブサイトでは、
900店舗以上の登録店舗から
周辺の協力店・応援店を
探すことができる。

- 宴会時の食べ残しを減らすために、忘年会・新年会シーズンに全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会の全国キャンペーンとの協働で「おいしい食べきり」を啓発。

「おいしい食べきり運動」は福井県から全国へ

全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会 の誕生

福井県を事務局として、平成28年10月に、「おいしい食べ物を適量で残さず食べきる運動」の趣旨に賛同する自治体間のネットワーク「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」を設置。参加自治体数は350（平成30年5月7日現在）。

「おいしいふくい食べきり運動」
とは？

STEP1

家庭やホテル・レストラン
などで、おいしい福井の
食材を使っておいしい料理を
作り



STEP2

作られた料理を
おいしく食べきって



STEP3

残ってしまった料理は、家庭で
新たな食材としてアレンジ料理に
活用し、外食時には持ち帰って
家庭で食べきろう！



〈宴会での食べ残しを減らそう！啓発チラシ〉



問い合わせ
福井県安全環境部健康社会推進課 福井市大平3丁目1-7-3 電話 0756-20-0817
福井県は「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」に参加しています。
印刷費は全額県費で負担します。

⑤参加型「ふじのくに食べきりやったね！キャンペーン・チャレンジ」の実施（静岡県）

「買いすぎない」、「使いきる」、「食べきる」といったライフスタイルを定着させるため、実践型で取り組む工夫を凝らした食品ロス削減を推進。

- ❑ 県民の食べ残しによる食品ロスを削減するため、約680店舗の飲食店と協力し、「ふじのくに食べきりやったね！キャンペーン」を実施。
「フォトコンテスト」や食べきりでお店から特典を受けられる「食べきり割」など参加型の内容に工夫

- ❑ 家庭での食品ロス削減への理解を深めるため、県内全小学生及びその家庭を対象にし、「ふじのくに食べきりやったね！チャレンジ」を実施。

〈啓発教材：低学年用〉



※県内の全小学生（約20万人）に配布

食べきり実践や“食べ物をムダにしないため”の工夫についてのチャレンジを募集

〈優良実践取組の表彰〉



※チャレンジを実践した優良取組親子を表彰

〈使いきり賞の取組例〉

- 毎週1日は冷蔵庫の中のそうじDAYをつくって、冷蔵庫をからにする。
- おいしいと思っていると（残さず）食べられる。

〈キャンペーンリーフレット〉



〈イベントリーフレット〉



- ❑ 大型小売店と連携し、食品ロスについて知るクイズラリー形式の食品ロス削減イベントを実施。

⑥庁内横断的に食品ロス削減に向けたアプローチを展開(愛知県)

「食品ロス削減に関する庁内連絡会議」を設置し、消費生活や食育、廃棄物処理、環境教育など様々な領域から食品ロス削減に向けた取組を推進。

□ 消費生活情報や食育情報などでの情報発信。

あいちの目指す食育

むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合

●41.8%〔H27〕 → 50%以上〔H32〕

「あいち食育いきいきプラン」より

□ 「あいちエコ食スタイル 今日から始める 20tips」を作成・配布。

※ちょっとした工夫で
実践できる「環境に
優しい食生活」のコ
ツや豆知識を掲載

- (買い物) Tips 1 : 地元でとれたものを選ぶ
Tips 2 : 買い物にメモを持参しよう
(保存) Tips 3 : 食材を上手に保存しよう
Tips 4 : 賞味期限と消費期限の違いを理解しよう
Tips 5 : 開封した日を明記しよう

このほか、料理、片付け、外食も含めて、全部で20Tipsを掲載

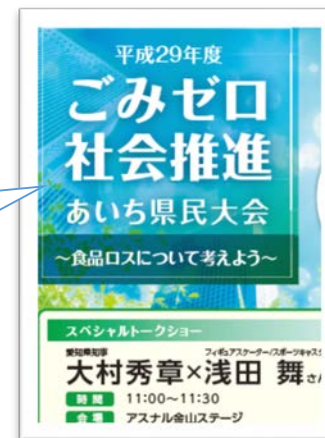
〈今日から始められる
20のTips紹介〉



Tips (ティップス) とは、コツや豆知識のこと

□ 「食品ロス」をテーマとして平成29年度ごみゼロ社会推進あいち県民大会を開催。

トークショー、NPO法人セカンドハーベスト名古屋による活動発表を行うとともに、県のイベントとして初めてとなるフードドライブを実施



〈3010運動 啓発用ポスターやチラシ〉



□ 宴会時の食べ残しを減らすため3010運動の啓発ポスターやチラシを作成。平成29年度は忘年会・新年会シーズンに3010運動推進キャンペーンを実施。

□ 食品ロス削減に関する庁内連絡会議を設置(平成29年3月)し 庁内関係10課室で情報共有・意見交換等を実施。



⑦食の都・大阪から食品ロス削減に向けた取組を推進(大阪府)

小売店や飲食店での啓発を実施するとともに、ライフスタイルにあった食品ロス削減のコツを、府民に提案する啓発を実施。

- 小売業や外食産業の協力の下、食品ロス削減キャンペーン「食の都・大阪でおいしく食べきろう！～食品ロス削減を大阪から～」を実施。小売店や飲食店にポスター等を掲示し、普段の買物や外食時に少しの心掛けが食品ロス削減につながることを啓発。



※食品ロスとは、様々な理由で「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」のことです

〈飲食店ステッカー〉



〈小売店ポップ〉



〈小売店での呼び掛け〉



- 大阪府食品ロス削減事例集「みんなで減らそう食品ロスーロスのない 買いかた 作りかた 食べかたー」を作成・配布。「知識編」と「実践編」の2部構成で様々な場面ごとの取組を掲載。

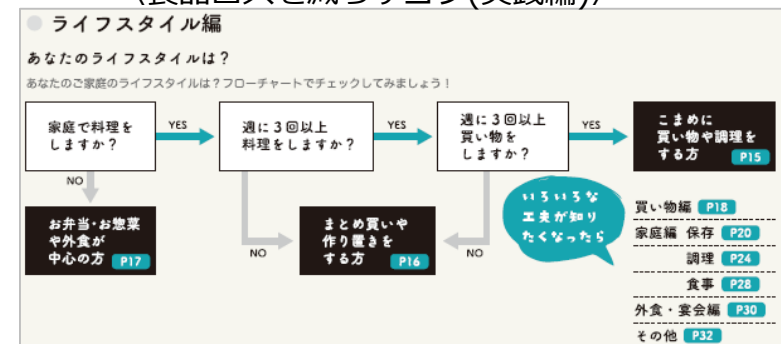
〈大阪府食品ロス削減事例集 表紙〉



〈食品ロスってなんだろう(知識編)〉



〈食品ロスを減らすコツ(実践編)〉



⑧食品と家計のもったいないを減らすための取組を推進（岡山県）

食品ロスを減らすため、「もったいない」気持ちを大切に、一人一人ができることから始められることをねらいに、各種取組を推進。

□ **食品ロス削減ヒント集「この一冊で食品と家計のもったいないを減らそう！」**を作成・配布。「買いすぎ」「使いきる」「食べきる」3つの食品ロスを減らすポイントについて、具体的なアクションを掲載。

□ **おかやま30・10運動 春夏秋冬シーズンにあわせた30・10運動キャンペーン**を実施。消費者に食べ残しを減らす取組の協力を呼び掛け。

〈シーズン毎の30・10運動 三角注〉



- ・夏のおかやま30・10運動 のこサマ〜で〜♪
- ・秋のおかやま30・10運動 食べ残し〇（ゼロ・宴）会
- ・冬のおかやま30・10運動 おいしく残さずたべきろう
- ・春のおかやま30・10運動 のこさずたべよう✽

□ **大切な食べ物をムダなく使いきり、ごみを減らすごみ削減プロジェクト**を実施。

県民を対象に参加家庭を募集し、食品ロスを減らす工夫をしながら、可燃ごみの量を計り、報告してもらう

〈もったいないを減らそう！ヒント集〉



〈みんなでチェック！わが家のごみ ごみ削減プロジェクトのリーフレット〉



⑨「作って、食べて、考える」参加型の取組を中心に展開(徳島県)

小学生を対象としたイベント「作って、食べて、食品ロスについて考えよう」や親子向けエコクッキング教室など幅広い年齢層を対象とした参加型の取組を中心に、食品ロス削減を推進。

- 小学5・6年生を対象とした食品ロス削減に向けたイベント「**作って、食べて、食品ロスについて考えよう**」を開催。
- 小学3年生から6年生までとその保護者を対象に、食品ロス削減について楽しく学ぶための親子向けの**エコクッキング教室**を開催。
- エシカル消費*を学んでもらうシンポジウム「**エシカル・ラボ i n 徳島**」で**食品ロスをなくすアイデア**などの話し合いを実施。*環境、人や社会、地域に配慮した消費活動
- 学校において、授業や給食時間に食品ロス削減についての指導を実施。
- 県施設や市町村役場などでの**食品ロス削減啓発パネル展示**、「**おいしい徳島！食べきり運動**」のチラシの配布による啓発を展開。

〈食品ロスパネル展示〉



〈小学生向けイベント〉



食品ロスの現状について学ぶ



調理の様子（キャベツの芯も小さく切れば食べられる）

あらかじめ用意した食材から3種類選ぶのがルール

小学生3名と大人1名で1チーム。大人は口出しせず、小学生だけで考え、相談、調理

⑩広域連携で取り組む「食べきりげんまんプロジェクト」(九都県市)

九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会※1は、九都県市における深刻な廃棄物問題※2を解決するためのシステムづくりや市民への啓発を行う中で、食品ロス削減に向けた取組も実施。

※1: 埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市、相模原市による九都県市首脳会議の組織として、廃棄物担当部局長を委員として構成。

※2: 九都県市は日本の人口の25%、国内総生産の30%を占めている。日本経済の中心である一方、それに伴い大量で多様な廃棄物が発生。

□ 食料の無駄づかいを減らすために、「もっと！食べきりげんまんプロジェクト」を実施。

- 「家庭でも外食でも、大切な食べ物を残さずしっかり食べきろう！」食べ残しをしない約束をみんなで守る呼び掛けを実施
- ウェブサイトでの情報発信や外食事業者と連携したスマイルフォトコンテストを開催

〈もっと！食べきりげんまんプロジェクト〉



□ 九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会のウェブサイト に各自治体の食品ロス削減の取組や啓発マンガを掲載。

＜取組の紹介例＞

相模原市：「食品ロスを考える講演会」



千葉県：3Rシンポジウム「減らそう！食品ロス！」



東京都：防災と一緒に考えよう～備蓄食品の「もったいない」



埼玉県：フードバンク活動の支援



⑪使いきり！食べきり！でもつたいないを減らそう(札幌市)

食品の“もったいない”を減らすために、さっぽろコミュニケーションとして、家庭からの食品ロス削減や外食時の食品ロスを削減するための取組を推進。

- ごみ減量キャンペーンとして、啓発冊子「日曜日は冷蔵庫をお片づけ。」の作成・配布。冷蔵庫整理セミナーの実施などにより、冷蔵庫の中を定期的にチェックすることで、食品の使いきり、食べきりを呼び掛け。

〈冷蔵庫お片づけパンフレット〉



- 宴会や会食での食べ残しを減らすため、宴会や会食の開始後25分間と終了前10分間は自席で料理を楽しむことを呼び掛ける「2510（ニコッと）スマイル宴」を展開。

〈宴会や会食時に活用できる三角ポップ〉



※宴会で使用した後は、裏返して年間カレンダーとして使用できる

※整理収納アドバイザーによる冷蔵庫お片づけテクニックやごみを資源にするポイントを記載

- 平成29年9月に市民公募により初めて「食品ロス」モニター調査を実施。

食品ロスモニター調査の結果、参加した市民の皆さんから「食品ロスを記録することは効果が大きい」との声が寄せられたことで生まれた「食べ物の“もったいない”チェックシート」

○をつけていくだけで、簡単に食品ロスを記録できる

食べ物の“もったいない”チェック

月	日	捨てたもの			捨てた量			捨てた理由(○が多いものは要注意)					メモ イベントを 記入
		野菜 果物	料理	品目	全部	半分	少し	鮮度落ち 期限切れ	買いすぎた	作りすぎた	予定が 変わった	その他 理由を記入	
例	7	○		ミニトマト			○		○				誕生会



⑫残さず食べて素敵な食事「食べきりキャンペーン」(千葉市)

廃棄物の発生抑制(Reduce:リデュース)に関する取組として、『残さず食べて素敵な食事～「いただきます」と「ごちそうさま」～』を合言葉に、飲食イベント、学校、ホテルと協働して、食べきりキャンペーンを実施。

□ 「ちーバル2017」×「千葉市食べきりキャンペーン」を実施。

食品ロス削減のため、ちーバル2017*の参加飲食店で食べきりに向けた取組を実施。

*「ちーバル」は、千葉市中心市街地の賑わい創出を目的として、千葉中央地区を4エリアに分け、10月の1か月間にわたり「食べ・飲み歩き」を楽しむ飲食イベント。

〈校内掲示用ポスター〉

□ 小・中学校での食べきりキャンペーンを実施。

人間形成に多大な影響を与える少年期において、食品ロスの現状を認識して食べ物を大切にする習慣づけをするため、市内の市立小学校(111校)及び市立中学校(55校)で、平成29年10月に取組を実施。取組の内容は、校内へのポスター掲示、校内放送での呼び掛け、「給食だより」又は「クラス掲示資料」への記事掲載。

□ 「ホテル」×「千葉市食べきりキャンペーン」の実施。

ホテルでの宴会においても、食べ残しに伴う食品ロスが発生しているため、ホテル(市内7箇所)の宴会における「食べきり」啓発を、宴会の多い12月から1月にかけて実施。



⑬食品ロス削減の「実践に向けた提案」を軸に展開（横浜市）

市民・事業者の皆様にご協力いただき、食品ロスを出さないライフスタイルが定着するよう、必要性を理解していただく「きっかけづくり」、行動への動機づけに向けた「価値観の醸成」、主体的な行動に移してもらうための「実践に向けた提案」として、プロモーション活動やノウハウの普及に関する取組を展開。

- 国連機関、NGO／NPO、企業、市民の皆様と共に「食」を考えるシンポジウム、上映会、ワークショップを開催。
- 家庭にある野菜を使い切るためのレシピ集「まるごと旬野菜～使い切りレシピ～」を作成し、小売店等と連携して普及・活用。
- 「冷蔵庫整理収納」や「クッキング」など、食材を無駄にしないための家庭での実践に役立つ講座を開催。
- 小盛りメニューの提供やお持ち帰りの対応など、食べ残しを減らす取組をしている飲食店等を「食べきり協力店」として登録。

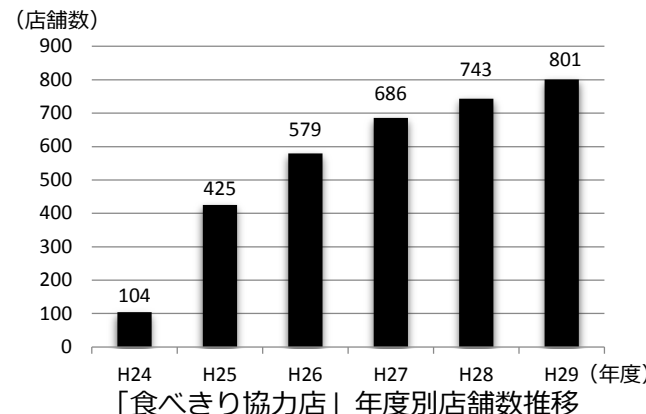
〈「世界食料デー」月間2017キックオフシンポジウムin横浜（平成29年10月1日）〉



〈まるごと旬野菜～使い切りレシピ～〉



〈冷蔵庫整理収納講座〉



⑭「使いきり」、「食べきり」、「水きり」の3きり運動の推奨(川崎市)

ごみの減量化・資源化に向けた取組の一つとして「食品廃棄物のリデュース・リサイクルの推進」を新たな施策として掲げる中で、食品ロス削減に向けた取組を推進。

□ ポスターやリーフレット等の作成・啓発を通して、**3きり運動**を推進。

□ 様々な年代の市民や事業者など多様な主体が ごみ減量について意見交換する「**ごみゼロカフェ***」で食品ロスについて考える**ワークショップ**を開催。

* カフェのようにお茶を飲んでくつろぎながら小グループで意見交換をし、アイデアを出すもの。開催結果は「ごみゼロカフェNews」で広報するとともに、市のごみ減量施策に反映。

□ ミニメニューの提供をしているお店、ポスターの掲示やお客さんへの呼び掛けにより食べきりを推奨しているお店を「**食べきり協力店**」に認定。

〈食べきり協力店
ステッカー〉



〈生ごみ等の3きり運動の推進〉

発生抑制や減量化の取組として、「使いきり」、「食べきり」、「水きり」の3きり運動を推奨



〈食べきりポスター〉



⑮ムダなくおいしい 家DE出さない！フードロス(相模原市)

市民みんなで一丸となって取り組む「相模原ごみDE71(でない)大作戦」の下、家庭から出る食品ロスを減らすための取組を推進。

- 家庭での食品ロスを減らすため、学校給食の人気メニューを活用したリメイクレシピをリーフレットで紹介。

「DE(で) = 「Do it, Everybody! (みんなで取り組もう!)」

- 食品ロス削減レシピ講座として、実際に作って学べる調理実習形式のレシピ講座を開催。



- 「食品ロスを考える講演会 ～「地元産」をPRし食材に愛着を～」を開催。

- フードドライブ*を実施。
フードドライブで、回収した食品はNPO法人セカンドハーベストに寄附。

*フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンクなどに寄附することで、食べ物を必要としている人に届ける活動。

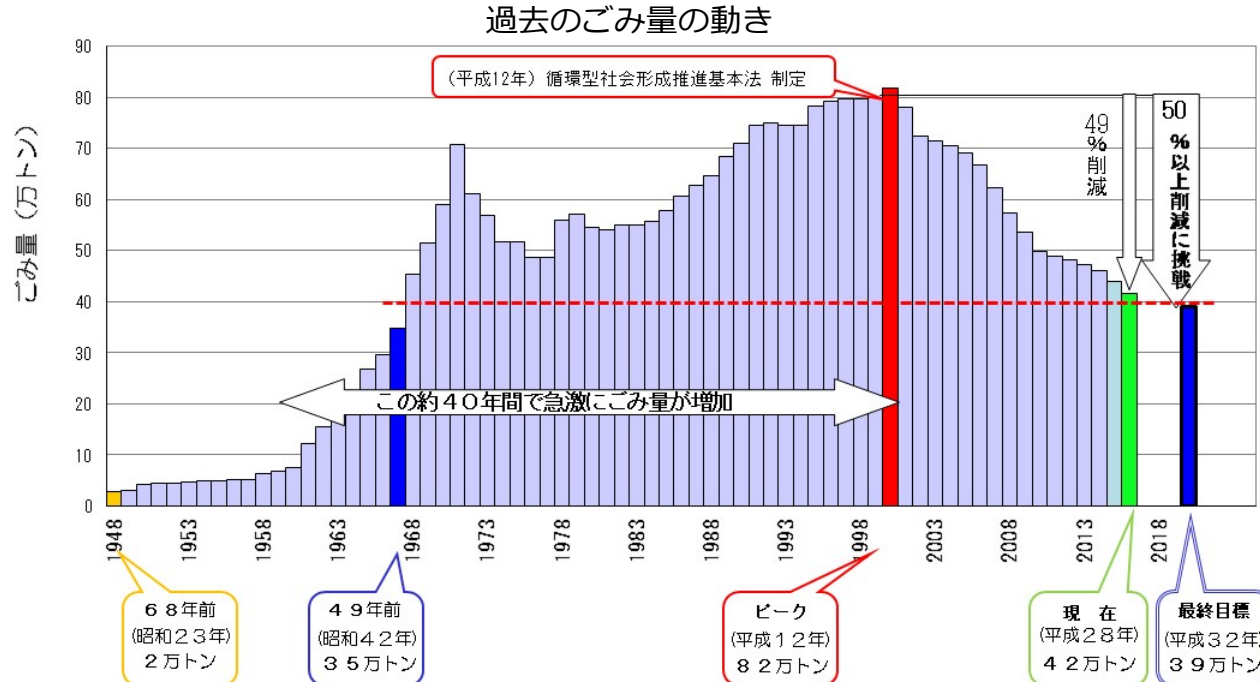


まだ食べられるのに捨てられる「食品ロス」世界の問題とは？
私たちにできることは？



⑩ピーク時からの食品ロス半減を目指し、様々な取組を展開(京都市)

「新・京都市ごみ半減プラン」の下、食品ロスについてもピーク時(平成12年度9.6万トン)からの半減に向け、ごみ減量行動の市民及び事業者への定着を図るために、様々な取組を展開。



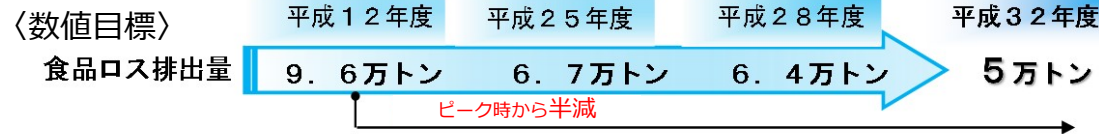
〈約90世帯3日分のごみから出てきた手つかず食品(平成28年度調査)〉



食品ロス排出実態
(平成28年度)

〈家庭から〉
生ごみ(7.6万トン)のうち、2.8万トン排出
〈事業所から〉
生ごみ(7.3万トン)のうち、3.6万トン排出

食品ロス削減
の取組を推進



- 生ごみ3キリ運動の実施(商業施設の店頭キャンペーンの実施、生ごみスッキリ情報館の開設、各種啓発活動)
- 生ごみ3キリ運動を推進している飲食店や宿泊施設を「食べ残しゼロ推進店舗」として認定
- 環境にやさしい「京都エコ修学旅行」の実施
- 地域学習会「しまつのこころ楽考(がっこう)」の開催
- 販売期限の延長による食品ロス削減効果に関する調査・社会実験の実施
- フードバンク等民間団体の活動支援 等

⑰「KOBE ストップ the 食品ロス」運動を展開(神戸市)

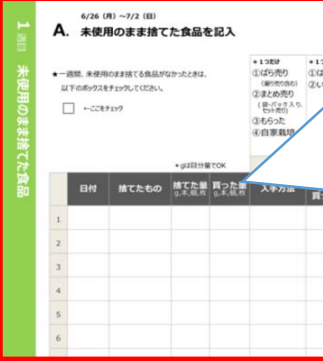
資源を有効利用し、ごみができるだけ発生しない暮らしや社会の実現を目指して、市民との協働により、家庭での食品ロス発生の実態把握や家庭で余っている食品を有効に活用する取組を実施。

- 食品ロスが発生してしまう理由を具体的に把握し、その解決に向けたアクションを検討することを目的とし、約700世帯の市民モニターの協力の下、「**食品ロスダイアリー**」による調査を実施。

【主な調査結果】

- 食品ロスが「ない」、「ほとんどない」と考えていた家庭でも、4週間に平均3～4回廃棄
- 調査開始1週目から4週目にかけて週を追うごとに廃棄が減少
- 生鮮野菜の廃棄が最も多く、理由の多くは品質の劣化
- 買物前に在庫チェックをしている世帯は、しない世帯より廃棄が3割少ない
- 子どもがいる世帯の廃棄理由は「子どもの食べ残し」が最も多い
- 1人当たりの食べ残しが最も多いのは単身高齢世帯（子どもがいる世帯の約2倍）で、廃棄理由は「作りすぎ、量が多い」が最も多い

〈食品ロスダイアリー〉



日記形式で廃棄のたびに記録。

〈記入項目〉

- 捨てたもの
- 捨てた理由
- 捨てた量
- 保管場所
- 買った量
- 保存方法
- 入手方法
- どうすれば捨てずに済んだ?
- 購入理由

- 生活協同組合・大手スーパーマーケットの店頭や大学の学園祭で「**フードドライブ**」を実施。

〈生活協同組合・大手スーパーマーケットと共に取り組むフードドライブの実施風景、回収食品の活用ルート〉



市の生ごみ組成調査結果を踏まえた食品ロス削減啓発プログラムを作成するとともに、ワークショップの提案やレシピ集の公募など、市民の知恵を引き出し実践につなげる啓発を展開。

- [illegible]

- 

岡山市食品ロス削減 啓発プログラム



岡山市 環境局

食品ロス削減に向け、私たちが無理せずにできることはたくさんある。

岡山市民としての目標！！

平成24年度～37年度
岡山市ごみ処理基本計画

ごみ減量、まずCUTプラン（マスカットプラン）

家庭系可燃ごみのうち 生ごみの減量目標

H22年度比
10%削減

きずけは
出来ること
からやろう！



少しづつでも皆で
取組めば大きな成果！



〈コンテスト優秀作品のレシピ集〉

〈リーフレット〉



⑱食品ロスをなくして笑顔を広げる「スマイル！ひろしま」を展開（広島市）

市民団体、事業者、行政で構成する広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会を中心に、食品ロスをなくして広島に笑顔を広げる食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」を展開。

❑ 飲食店やホテル・旅館等における料理の食べきりや持ち帰りを推進する「**食べ残しゼロ推進協力店**」(195店舗)と、小売店における食品ロスの削減を推進する「**食品ロス削減協力店**」(161店舗)の登録・PR等を実施。（登録店舗数はいずれも平成30年3月31日時点）

❑ 家庭から出る食品ロスを削減するために、啓発チラシ「週に一度は冷蔵庫の整理・整頓！」を各戸配布。

❑ 若者が若者へ向けた**エコクッキングレシピ**を大学生と連携して作成、市のウェブサイトに掲載。

❑ キャンペーンの一環として、毎月1日を「**ごみ減らそうデー**」として、スーパーマーケットの店頭で、食品ロス削減パネルの展示やチラシの配布を実施。

〈啓発チラシ「週に一度は冷蔵庫の整理・整頓！」〉



〈学生と連携したエコクッキングレシピ〉



②⑩誰もがちょっとした心掛けでできる「残しま宣言」運動を実施（北九州市）

食べ物のもったいないをなくすために、家庭や外食で誰もがちょっとした心掛けでできる「残しま宣言」運動を中心に、市民や飲食店、小売事業者、市民団体との協働による取組を実施。

- 食べ物のもったいないをなくすための取組として、市民や飲食店が取り組むことができる「残しま宣言」運動を実施。

〈「残しま宣言応援店」ステッカー〉

〈残しま宣言啓発カード〉

- 市民の食べきりを促進するための取組を行っている飲食店等を「残しま宣言応援店」として登録。



- 毎月19日（食育の日）を**冷蔵庫のクリーンアップの日**として、過剰な買物や期限切れ等による食品の廃棄を減らす取組を実施。

〈冷蔵庫のクリーンアップチラシ〉



- 定期的に冷蔵庫を整理し、中身をチェックするため、冷蔵庫のクリーンアップ取組内容を紹介
- 冷蔵庫の中身チェックリストも掲載



- 小売事業者、市民団体、行政の三者連携による統一的な取組を実施することを目的に、**食品ロス及びレジ袋削減に向けた取組に関する協定**を三者間で締結。

（平成30年3月 7事業者・市民団体2団体と締結）

⑳「人にも地球にもやさしいあきた」を目指し、「もったいないアクション」を推進（秋田県秋田市）

「人にも地球にもやさしいあきた」を目指す取組の一環として、食べ物を大切に残さずおいしく食べきることを啓発する取組「もったいないアクション」を推進。また、フードバンクの活動も支援。

- 食べ物を大切に残さず食べる
取組として、宴会時の「**食う
～ベエタイム**」を提案し、
残さずおいしく食べきる
ことを啓発。

※ホテル、飲食店等の協力を得て、テーブル上にポップを設置して啓発。



- スーパー等の協力を得て、**食べきり啓発ポスター**を掲示。食べ残しを減らすための取組に協力いただいているお店を「**もったないアクション協力店**」として紹介。 〈啓発ポスター〉 〈協力店ステッカー〉



- 子どもたちを食の面から支えようと、一般社団法人
フードバンクあきたと協力協定を締結し、市民協働
事業として**子ども食堂**を開催。

市民協働事業提案の秋田市協働サポート交付金*で、フードドライブを活用した子ども食堂の開催の事業提案を採択。「みんなdeごはん」を開設し、食事を提供。

* 市民の参加と協働によるまちづくりを推進するため、市と市民活動団体等が目的を共有し、役割を分担し、協力して取り組む公益的な事業の提案を公募、審査後に交付金を活用して事業化。

〈「フードバンクあきた」が実施するフードドライブ〉



広報紙やごみ情報紙への掲載、学校での食育の実施、みと消費者市民大学での講義の実施などを通して、市民や児童・生徒に対する食品ロス削減に向けた啓発を実施。

〈NPO法人が行うセミナーのチラシ〉

23

㊼「もったいない運動」の一環として、食品ロス削減のための取組を実践(栃木県宇都宮市)

「人やものを大切にすること」を基本として、市民の日常生活や事業活動の中で行動に結び付くよう、「もったいない運動」を推進する中で、食品ロス削減のための取組を実践。

❑ 市民と事業者が一体となって食品ロスを削減するため、「もったいない残しま10(てん)！」運動を推進。

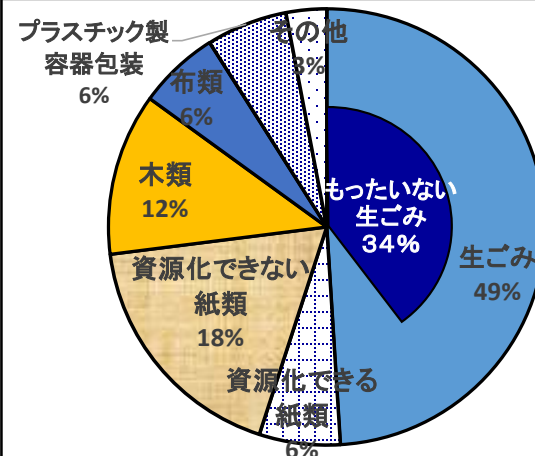
- 宴会で、開始時に幹事による「残しま宣言」の実施。開始10分・終了10分は、料理に専念して残さずに食べる。
- 食材は、10割(十分)使い切る。料理は、10割食べ切る。
- 毎月10日は、「もったない残しま10の日」。

❑ 「フェスタmy宇都宮2018」において、食品ロス削減のための「フードドライブ」を実施。

〈もったいない残しま10(てん)！ポスター〉〈もったいない運動推進ロゴマーク〉



「もったいない生ごみ*」が焼却ごみのうち約34%を占める。
(平成28年度宇都宮市家庭系ごみ組成分析調査結果より)



* 宇都宮市では賞味・消費期限切れなどにより廃棄された食品を「もったいない生ごみ」と呼んでいる。



ご家庭で余っている食品はありませんか?
食品ロス削減のための、

エコで
愉快だ
宇都宮
勿体無
愉快だ
宇都宮

フードドライブを実施します!

回収した食品は、「フードバンク宇都宮」に寄附し、
様々な理由で食べ物に困っている人などに届けられる

②「食育」や「ごみの出し方」から食品ロス削減にアプローチ(千葉県野田市)

学校給食や消費生活展、ごみの出し方といった日々の暮らしにつながる取組を通して、児童生徒や市民に対する食品ロス削減に向けた啓発を実施。

□ 学校給食で、毎日料理ごとに残食率を算出し、その結果を献立作成や児童生徒への**食育**に活用。

□ 平成29年度**野田市消費生活展**にて、消費生活センターのブースで食品ロス削減についての展示を行うなどして、啓発。

□ 市民啓発冊子「**ごみの出し方 資源の出し方**」に、食品ロス削減に関する内容を掲載。

今後は、食品ロスを減らす取組を行っている飲食店や食料品店等についてウェブサイト等で紹介予定

〈市民啓発冊子 ごみの出し方〉



食品廃棄物の削減(食品ロス)

食品ロスとは、また食べられるのに捨てられた食品のことです。
食品ロスのおもな原因は、「食べ残し」「皮のむき過ぎ」「鮮度落ち」です。

【家庭での取り組み】

- 買い物をするときは…
 - ・ 買い物をする前に冷蔵庫などをチェックしましょう。
 - ・ たくさんの量を必要としないときは、「ばら売り」「少量パック」などを利用して、必要以上に購入しないようにしましょう。
- 調理をするときは…
 - ・ 残っている食材から使いましょう。
 - ・ 野菜や果物の皮は厚くむき過ぎないようにしましょう。
 - ・ 食べきれない量を調理して、作りすぎないようにしましょう。
- 賞味期限と消費期限の違いは…
 - ・ 食品の期限表示は、「賞味期限」と「消費期限」の2種類があります。「賞味期限」は、「おいしく食べることできる期限」、また「消費期限」は、「期限を過ぎたら食べない方がよい期限」のことをいいます。

※賞味期限を過ぎてもすぐに廃棄せず、自分で食べられるか判断しましょう。

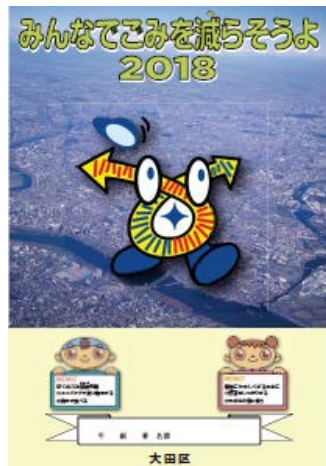
【飲食店等での取り組み】

飲食店や食料品店等から排出される食べ残しや、まだ食べられるのに捨てられる食品等の食品廃棄物の削減を減らすことは、生ゴミ減量に大きな効果があります。市では、食品廃棄物の削減を減らす取り組みを行っている市内の飲食店や食料品店等を野田市のホームページや市報等で紹介するとともに、実施していない飲食店や食料品店等については、市から取り組み事例などを紹介していきながら食品廃棄物の削減を推進していきたいと考えています。

②5ごみ減量の啓発などを通して、食品ロス削減にアプローチ(東京都大田区)

ごみ減量の啓発冊子や広報誌、エコレシピのコンクールや防災訓練など、日々の暮らしにつながる取組を通して、児童や市民に対する食品ロス削減に向けた啓発を実施。

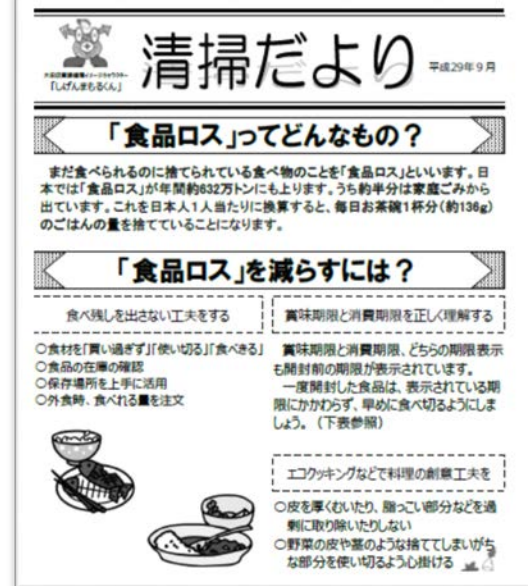
□ 小学生向け冊子「みんなでごみを減らそうよ」、広報誌「清掃だより」で、食品ロス削減の内容を掲載。



〈小学生向け冊子「みんなでごみを減らそうよ」〉

- もくじ
- 1 ごみてなんだろう？
 - 1-1 これはごみ？
 - 1-2 ものの一生
 - 1-3 ものを大切にしよう！
 - 1-4 家庭でのごみと資源の分け方・出し方
 - 2 大田区のごみと資源のゆくえ
 - 2-1 ごみのゆくえ
 - 2-2 資源の流れ
 - 2-3 大田区のごみ収集車・資源回収車
 - 2-4 大田区にある清掃工場
 - 2-5 東京都の埋立処分場
 - 3 3Rについて考えてみよう
 - 3-1 ごみになるものを減らそう（リデュース）
 - 3-2 もう一度使おう（リユース）
 - 3-3 もう一度資源になるようにしよう（リサイクル）
 - 4 食品ロスをなくそう
 - 5 これから私たちにできること
 - 5-1 ものとかかわり、昔の人は？
 - 5-2 私たちができることは何なのか考えよう！
 - 5-3 私たちのごみ減量作戦

〈広報誌「清掃だより」での掲載〉



□ 「エコレシピコンクール」の開催。

〈最優秀賞「華やかエコなパエリア」：野菜の皮など捨ててしまいがちな部分も上手に活用した作品〉



最優秀賞作品を題材に、「今日からできる！地球温暖化、食品ロス、ごみ減量などに配慮した調理のポイントを学ぼう」として、お料理教室を開催。

〈優秀賞「夏野菜ゴロゴロカレーとカラフルサラダとコーンスープ」：中学生の作品〉



人参の皮を素揚げにしてカレーのトッピングにするアイデア

□ 区主催のイベントでフードドライブを開催。

□ 町会等で行う地域ごとの防災訓練等で、非常食の試食や調理等を実施。

②⑥大学と連携した食品ロス削減プロジェクトを実施(東京都八王子市)

大学との包括連携協定に基づき、大学と連携した食品ロス削減プロジェクトを開始し、学生考案のデザインを実用化したステッカー等を用いて、飲食店との協働によるキャンペーンなどを実施。

□ 啓発用のステッカー及びポスターを飲食店に掲示し、**食べきり**を呼び掛ける取組を実施。

※大学で食品ロス問題を扱う授業を実施し、学生から提案されたアイデアを採用し、プロジェクト化。ステッカーやポスターも、学生の発想を生かしたデザインを採用。

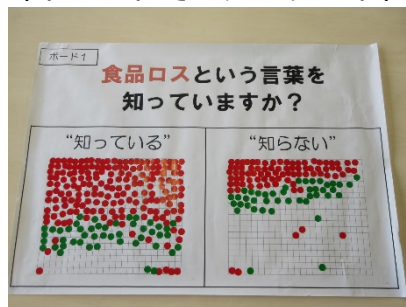
□ バルベリー八王子*とコラボ「**完食応援キャンペーン**」を実施。〈ガイドブック・チケット〉

*バルベリー八王子は、チケットを購入して、JR八王子駅・京王八王子駅周辺の参加店舗で4日間特別メニューをおトクに食べ歩くというイベント。



□ 消費生活フェスティバルなど**各種イベント**で啓発。

〈イベントでのアンケート〉



〈フェスティバルのブース〉



〈啓発ポスター〉



〈飲食店での啓発ステッカー〉



□ 保育園では、栽培や収穫・調理体験を通して食への関心を高める**食育**などの取組を実施。

□ 市で保管している**災害用備蓄食糧**のうち**消費期限が近づいたものを有効活用**。

※防災訓練を行う町会・自治会等への無償配布、防災の日に学校給食への提供等。

②⑦ごみの少ない、美しいまちを目指して、食べきり運動を展開（福井県越前市）

地球温暖化を防止する国民運動「COOL CHOICE」の一環としての小学生向けの啓発や、宴会時の呼び掛け、食べきり箸袋の作成など「おいしい えちぜん 食べきり運動」を展開。

□ 「COOL CHOICE」の一環として、小学生向けに**食べきり行動の推奨のための4コマ漫画**を作成し、啓発。

□ 市の**広報誌**で、食品ロスの現状と共に、具体的な食べきり行動を紹介。

□ **チラシや箸袋の作成**などによる啓発で「おいしい えちぜん 食べきり運動」を推進。

〈「おいしい えちぜん 食べきり運動」のチラシ〉

越前市では、

おいしい えちぜん 食べきり運動

を推進しています！

皆さんも今日から始めましょう！
～私たちができること～

- 🍴 外食のときには、食べられる量だけ注文しましょう。
- 🎉 宴会のときには、しっかりと食べる時間を作りましょう。
- 🏠 ご家庭では、必要な分だけ料理を作り、使い切り、食べきりを心がけましょう。

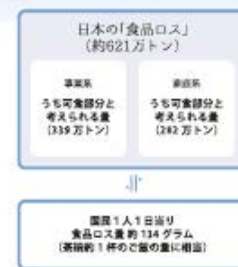
〈食べきり運動推進の箸袋〉



〈食品ロスを取り上げた広報誌〉

ごみの少ない、美しいまち、越前市にしよう。

《日本の食品ロスの大きさ》



※資料：WFP、経済産業省人口統計（平成25年度）

《越前市の現状》



※資料：WFP、経済産業省人口統計（平成25年度）

最も重要なのは「ごみをださない、つくるな、(R9)削減」こと

では、どうすればいいのだろうか？

！私たちが紹介します！

COOL CHOICEとは？

地球温暖化をこれ以上悪くしないため、資源大消費国として海外を温暖化対策の取組むこと。

越前市オリジナルキャラクターと一緒に取り組もう！

COOL CHOICEとは？

地球温暖化をこれ以上悪くしないため、資源大消費国として海外を温暖化対策の取組むこと。

越前市オリジナルキャラクターと一緒に取り組もう！

COOL CHOICEとは？

地球温暖化をこれ以上悪くしないため、資源大消費国として海外を温暖化対策の取組むこと。

越前市オリジナルキャラクターと一緒に取り組もう！

COOL CHOICEとは？

地球温暖化をこれ以上悪くしないため、資源大消費国として海外を温暖化対策の取組むこと。

越前市オリジナルキャラクターと一緒に取り組もう！

COOL CHOICEとは？

地球温暖化をこれ以上悪くしないため、資源大消費国として海外を温暖化対策の取組むこと。

越前市オリジナルキャラクターと一緒に取り組もう！

〈食べきり行動推奨の4コマ漫画〉



箸袋の紙はウェブサイトからダウンロードすることができ、折り方も紹介

②⑧残さず食べよう！30・10運動から広げる食品ロス削減（長野県松本市）

食育の推進、生ごみの削減の観点から、“もったいない”をキーワードとして、あらゆる世代、家庭や外食時など様々な場面で食べ残しを減らす取組を推進。全国へも発信。

□ 残さず食べよう！30（さんまる）・10（いちまる）運動の実施。

※会食や宴会などでは乾杯後の“30分間”とお開き前の“10分間”は席を立たずに料理を楽しむことにより、食べ残しを減らす“残さず食べよう！30（さんまる）・10（いちまる）運動”を実施。



〈30・10運動コースター〉



□ 家庭での食品ロスを削減するため、毎月30日を冷蔵庫クリーンアップデー、毎月10日をもったいないクッキングデーと設定し、「おうちで“残さず食べよう！30・10運動”」を周知・啓発。

□ 市内の保育園・幼稚園の年長児と全小学校の3年生を対象に、食べ物を作ってくれた人への感謝や資源の大切さを忘れない心を育み、食べ残しをなくして食品ロスを減らすための環境教育を実施。

〈市内の保育園で働く保育士らによる食品ロス削減啓発用紙芝居の作成〉



□ 「第1回食品ロス削減全国大会～広げよう30・10inまつもと～」

を開催（平成29年10月30日～31日）。



〈全国大会のオープニング〉

長野県松本市 食品ロス削減ウェブサイト：

https://www.city.matsumoto.nagano.jp/shisei/kankyojoho/haikibutu/syokuhin_loss/syokuhin_loss.html

㊤市民が考える「はしもとCaféミーティング」で食品ロスにもアプローチ（和歌山県橋本市）

市民が求めるまちづくりの実現に向け、多様なニーズや意見を把握するために開催される「はしもとCaféミーティング」。平成28年度の食品ロス削減に引き続き、29年度はごみ量削減をテーマに開催。

□ 「親子で考える橋本市のごみ問題～環境への取組を次世代へ」をテーマに、親子参加型のワークショップを開催。

- 橋本周辺広域ごみ処理場で施設見学の後、橋本市の今の課題やこれから予想される課題について、グループ・ミーティングを実施。
- 親同士、子ども同士のグループに分かれて考え、これからの橋本市に必要なごみ対策について、個人（家庭）、橋本市、社会への提案を行う。

□ 平成28年度は、「食品ロスを減らそう！消費者としてできること すべきこと 学ぶことを考える」をテーマに開催。

〈講演〉

〈グループ・ミーティング〉



〈橋本市のごみの取組について学ぶ〉



毎年出るごみの量と給食の食べ残しの量にビックリ！！

〈グループ・ミーティングの様子〉



※子どものグループの様子

開催結果は市のウェブサイトで公開



グループ・ミーティングでは、施設見学、発表を聞いて、改めて気づいたことから付箋紙に書き出すことから始め、グループ内で共有し、これからの橋本市に必要な取組について考え、意見交換・取りまとめ。

③「3きり運動(使いきり・食べきり・水きり)」で生ごみを減らす(大分県大分市)

市の家庭から出された燃やせるごみのうち、約半分が生ごみ。「食材を無駄なく使いきり」、「おいしく残さず食べきり」、「生ごみはしっかり水きり」を心掛ける「3きり運動」の取組を推進。

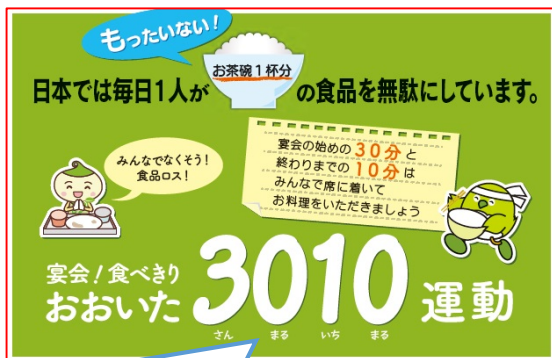
□ 3きり運動の推進を図るため、「3きり運動実践版パンフレット」を作成し、全戸配布。

□ 家庭からの食品ロスを減らすため、「サルベージ・パーティinおおいた」を開催。

※参加者が家庭で持て余している食材を持ち寄り、シェフがその場でレシピを考え料理をし、できた料理をみんなでシェアするパーティ。

□ 宴会での食べ残しを減らすために、「食べきり! おおいた3010運動」を推進。

□ 「大分市食べきりにトライ! 参加店」を募集、紹介。



〈3きり運動実践版パンフレット〉



実践版では、「使いきり」「食べきり」「水きり」それぞれの具体的なポイントを記載

駅前での街頭啓発、各種広報による啓発、飲食店に卓上ポップ、ポスターを配布

大分県大分市 食品ロス削減ウェブサイト :

<http://www.city.oita.oita.jp/kurashi/gomi/gomigenryo/3kiriundo/index.html> 31